



株式会社フォーバル東北支社 仙台市「エコにこゴールドマイスター」に認定 ～環境配慮の取り組みをさらに強化～

『「新しいあたりまえ」を創造し続ける』ことを掲げる、次世代経営コンサルタント集団である株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、東証プライム市場（証券コード：8275）以下「フォーバル」）の東北支社（支社長：松下 伸一）は、3月1日付で仙台市環境配慮事業者認定制度の「エコにこマイスター」に認定されていましたが、この度、7月5日付で「エコにこゴールドマイスター」に認定されました。



エコにこマイスター認定制度の目的

地球環境への影響を考慮し、循環型社会の形成の推進を図り、より快適な生活環境をつくっていくために、ごみの減量・リサイクルの推進等に取り組む市内の事業者を認定し、市民、事業者の環境保全に対する意識の高揚を図ることを目的としています。

認定区分・認定要件

■エコにこマイスター

1. 市内に事業所を持つ事業者であること
2. 審査項目20項目中6項目以上の実施が認められること
3. 認定の有効期間は認定を受けた年度の翌々年度末まで

■エコにこゴールドマイスター

1. 市内に事業所を持つ事業者であること
2. 共通審査項目12項目中7項目以上、かつ全審査項目20項目中12項目以上の実施が認められること
3. 認定の有効期間は認定を受けた年度の4年後の年度末まで

フォーバル東北支社の取り組み事例

- 簡易包装によるゴミ削減
- マイコップ持参による使い捨て容器使用自粛
- バインダー・ファイルの再利用
- 社内便封筒の繰り返し利用
- 紙類の分別BOXを設置
- 独自の電子契約ツールの提供
- 不要コピー用紙の再生紙へのアップサイクル
- コピー用紙のグリーン購入
- 印刷の抑制
- テレマティクスの活用における使用エネルギーの見える化
- 社用車にハイブリッド車を導入
- 仙台市フードドライブへの寄付
- エコバッグの持参
- 顧客から廃トナーを回収しリサイクル
- 段ボール類の分別
- リサイクルに出す紙の分別
- 支社内にCSR、SDGsを推進する委員会を設置
- 定期メールによるごみ減量の呼びかけ など

審査項目

■共通（12項目）

柱	項目
リデュース（ごみの発生抑制）	●無包装、簡易包装の推進 ●使い捨て容器・製品の使用（販売）削減、使い捨て商品の使用自粛
リユーズ（再使用）	●事務用品等消耗品の再利用の促進 ●通い箱等の使用による容器包装の削減
資源物の回収・リサイクル	●紙類の分別・リサイクルの推進 ●缶・びん・ペットボトルの分別・リサイクル推進
その他ごみ減量・リサイクル	●その他、創意工夫によるごみ減量・リサイクルの取り組み
組織的な環境配慮の推進	●環境に配慮した計画・方針の策定、社員等への教育、廃棄物を管理する部署や責任者の設置
その他環境に配慮した事業活動	●再生紙等の再生品やグリーン購入品の購入・使用推進 ●エネルギー等使用量の把握・削減 ●その他創意工夫によるCO2削減の取り組み
本市環境施策への協力	●本市環境事業への参加・協力（本制度の認定を除く）

■選択（8項目）

柱	項目
紙類の使用量削減・ペーパーレス化 【学校、オフィスなど】	●紙類の使用量抑制・再利用の促進 ●その他独自の紙類の使用削減に関する取り組み
環境に配慮した商品の販売、提供、広報等 【小売業など】	●顧客・職員等へのごみ減量・リサイクルの呼びかけ ●ノーレジ袋やマイバッグ持参の推奨によるレジ袋削減（職員等が買い物をする際の推奨を含む） ●店頭での資源物の回収・リサイクル ●エコマーク、グリーンマーク、グリーン購入法適合、GPNの「エコ商品 ねっと」掲載商品などの販売
食品廃棄物の減量・リサイクル推進 【飲食業、旅館業、娯楽業など】	●食品ロスの削減 ●生ごみの堆肥化・飼料化、水切り

株式会社フォーバルとは

企業経営を支援する次世代経営コンサルタント集団で、中小企業のDXアドバイザーのリーディング・プレイヤーであるフォーバル（資本金：41億50百万円、東証プライム市場【証券コード：8275】）は、中小・中堅企業を対象に「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野に特化したコンサルティングサービスをコアビジネスとしています。詳しくは、ホームページ（<https://www.forval.co.jp/>）をご参照ください。

■会社概要

社名 : 株式会社フォーバル
代表 : 代表取締役社長 中島 将典
設立 : 1980年（昭和55年）9月18日
所在地 : 東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号 青山オーバルビル14階
URL : <https://www.forval.co.jp/>